

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	35233
事業名	サッポロ・シティ・ジャズ事業費					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、多くの人が集ま					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ● その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	既存事業であった「サッポロ・ジャズ・フォレスト」を経て、平成19年度から中島公園を会場として本格開催。 平成20年度からはメイン会場を大通公園に移し、平成25年度にはサッポロミュージックテント(定員約600名)に変更し開催してきたが、ミュージックテント設営費用の増嵩等を受けて、平成30年度以降はミュージックテントを設営せず、主に芸術の森野外ステージや市内各所における屋外ライブを中心とした“夏”と、札幌市民交流プラザを会場に、国内外のトップミュージシャンによるシアタージャズライブのほか、ジャズ初心者や障がいのある方でも参加しやすいユニバーサルジャズライブや札幌市図書・情報館での展示等を加えた“冬”にフェスティバル期間を分けて実施。
	事業内容(何を実施し)	ジャズを中心とする多様な音楽事業として、プロライブや公募バンドによる無料ライブのほか、中高生バンドによる発表・交流事業や道内各地で企業と連携した音楽イベントなどを展開する。 ①事業費負担金: サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会(事務局:公財)札幌市芸術文化財団芸術の森事業課)への負担金 ②事務費: 業務に伴う時間外勤務手当
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	音楽文化を通じた地域や観光の活性化及び札幌の魅力発信を図る。
	他都市の状況	国内外の各地において大小様々なジャズフェスティバルが行われているが、代表的なものとしては、横濱Jazz Promenade(横浜)、定禅寺Jazz Street(仙台)、Tokyo Jazz(東京)などが挙げられる。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	10,874 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	8,300 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度決算額	8,395 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和6年度予算額	8,700 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.11 人工

指標	アウトプット活動指標1	パークジャズライブ会場数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		10	10	10	10	10	10
	↓						
	アウトカム成果指標1	サッポロ・シティ・ジャズ年間観客数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		75,682人	158,000人	180,906人	211,000人	211,000人	211,000人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度は達成。令和6年度以降はアクションプランで採用した指標を設定。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	今後も、サッポロ・シティ・ジャズの充実を図り、魅力的なイベントの開催や人材育成による音楽文化の振興はもとより、まちの魅力向上、集客交流促進にもつなげてまいりたい。